



もうすぐ就職試験が始まります。面接官はわずかな面接時間で応募者が採用基準に当てはまるのかどうかを判断されます。

人は見た目で判断する！



見た目で判断するのは道徳的な観点からも間違っているのではないかと反論が聞こえてきそうです。公正な採用選考を行う基本には、応募者の適性・能力に基づいて行うこととされており、応募者のもつ適性・能力が求人職種の職務を遂行できるかどうかを基準として選考されます。

実は、見た目からも多くの情報を推測することができます。頭髪や服装から清潔感に対する考え方を見ることができます。歩き方や挨拶の動作から行動力を推測することができます。座っている姿勢や表情から意欲や取り組み姿勢を推測することもできます。見た目には、仕事に適した能力があるかを判断するための情報がたくさん含まれているのです。

みなさんは初めて会った人と仲良くなれるかどうか、どれくらいの時間で判断しますか。ある調査によるとおよそ5割の人が会って数秒以内に、およそ7割の人が数分で判断してしまうそうです。

また、別の調査によると、情報が言葉で伝わるのは7%、顔の表情は55%、声の質は38%という結果もあります。この調査結果からも見た目がその人の性格や能力を判断する要素として重要なことがわかります。

こんな話をすると、性格はすぐには変えられないので見た目を变えるなんて手遅れだと思われるかもしれません。ところが逆に、見た目を变えることで人格を变えることができるのです。家に帰って気の抜けたように見える家族も、仕事の時は別人のように見えるものです。制服や作業服など仕事用に外観が変わるだけで気持ちが引き締まり、その気持ちが態度をより引き締め、カッコいいと感ぜられるのです。まさに外見が人格を変えている好例です。



みなさんの制服も正しく着こなしたときのカッコいい姿をイメージして制服メーカーがつくっています。本来の着こなしができればより良い第一印象を持ってもらえることでしょう。さっそく、行動してみましょ。身なりを整え、背筋を伸ばして、登校時には明るい表情で教室に入り、いつもより少し大きな声で「おはよう！」とクラスメイトに声をかけてみてください。

校長 松川 明義



【行事予定】 9月7日(水)：環境教育講演会 (1年)
K1現場見学

今週末の大会等：国民体育大会 (弓道)：栃木県宇都宮市



米工 HP